

ARIBの動き

CEATEC JAPAN 2006アンケート報告 (速報)

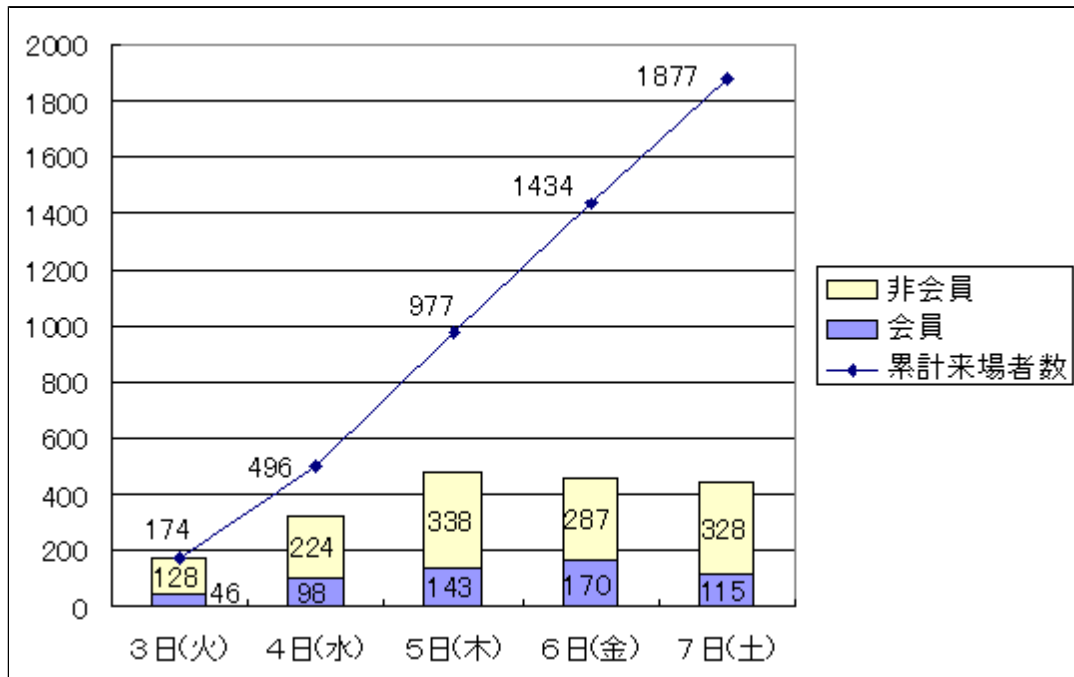
平成18年10月3日(火)から7日(土)までの5日間、幕張メッセにおいてCEATEC JAPAN 2006が開催されました。当会ではブースを設け、DVDによる当会の業務紹介、パネルによる通信・放送分野の研究開発状況の紹介及び各種パンフレットの配布を行いました。

昨年に引き続きアンケート調査を行ったところ過去最高の1800人を越える方の貴重なデータが得られました。本年は研究開発項目の他に地上デジタルテレビジョン放送についてアンケート調査を行いました。

今回は地上デジタルテレビジョン放送についてのアンケート結果をご報告させていただきます。

アンケートの全項目については、ARIB機関誌 (No.52 平成19年1月発行) でご報告させていただきます。

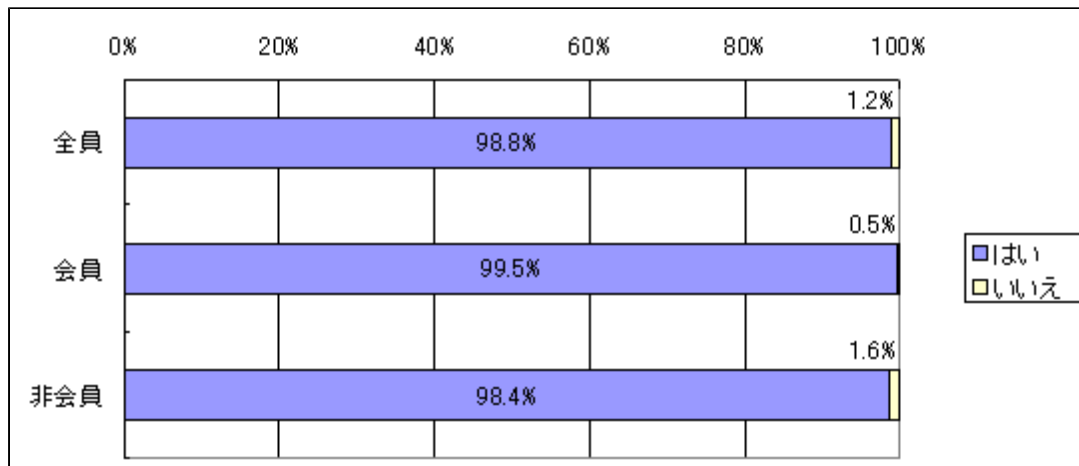
1 アンケート回答者



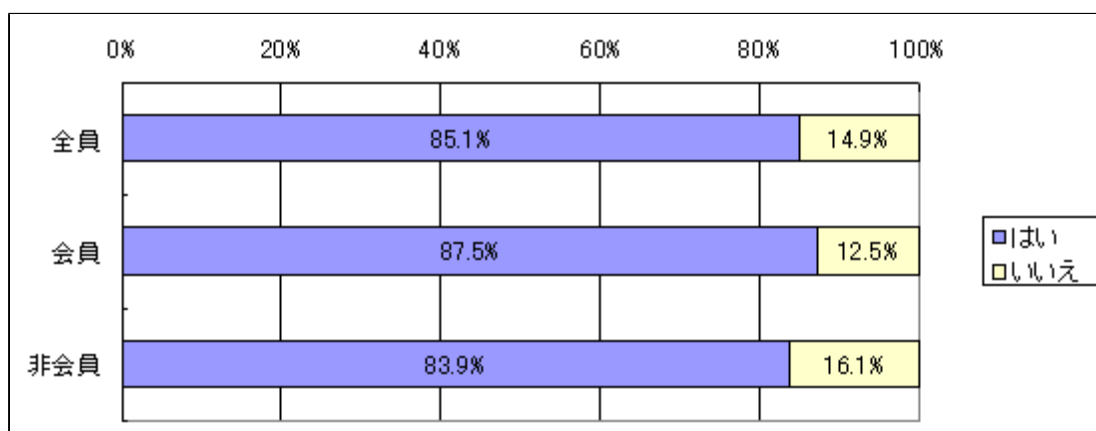
2 地上デジタルテレビジョン放送についてのアンケート調査結果

(回答者の内訳：会員216名、非会員442名、合計658名)

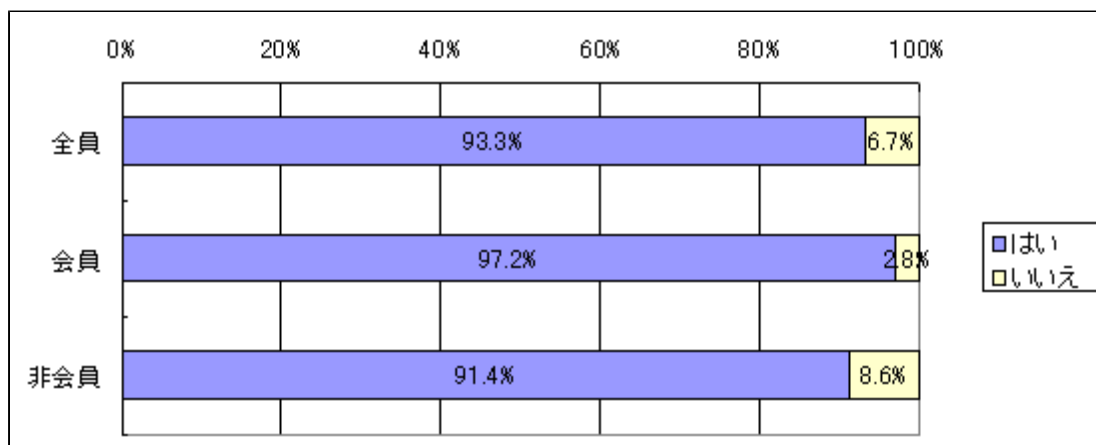
(1) 地上デジタルテレビ放送のことをご存知ですか？



(2) 本年末までには、各県庁所在地等の主要都市において地上デジタルテレビ放送が開始されることをご存知ですか？

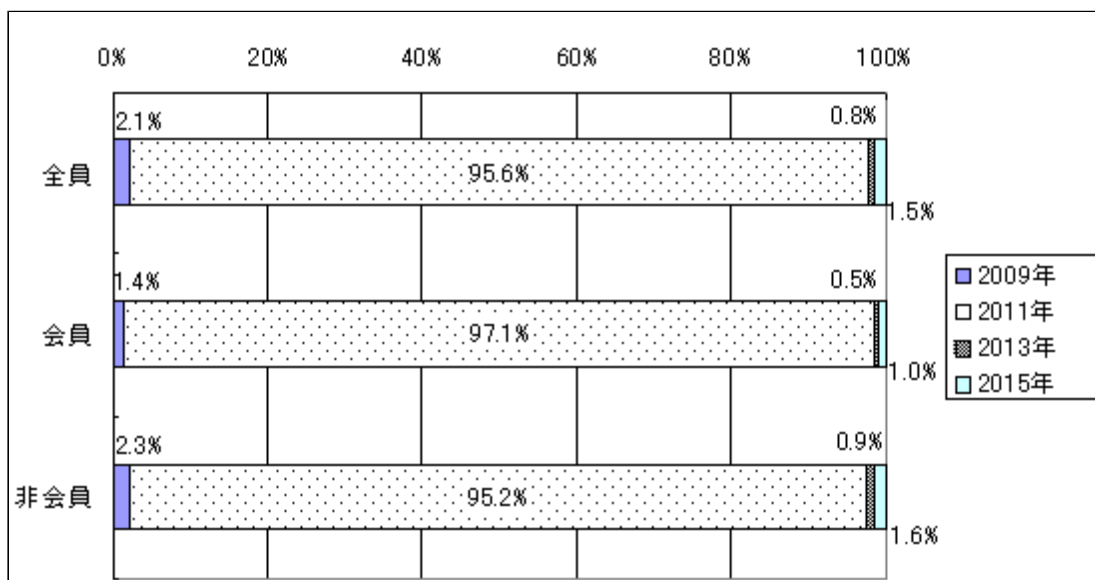


(3) 地上デジタルテレビ放送に完全に移行し、現在の地上アナログテレビ放送が終了する時期をご存知ですか？

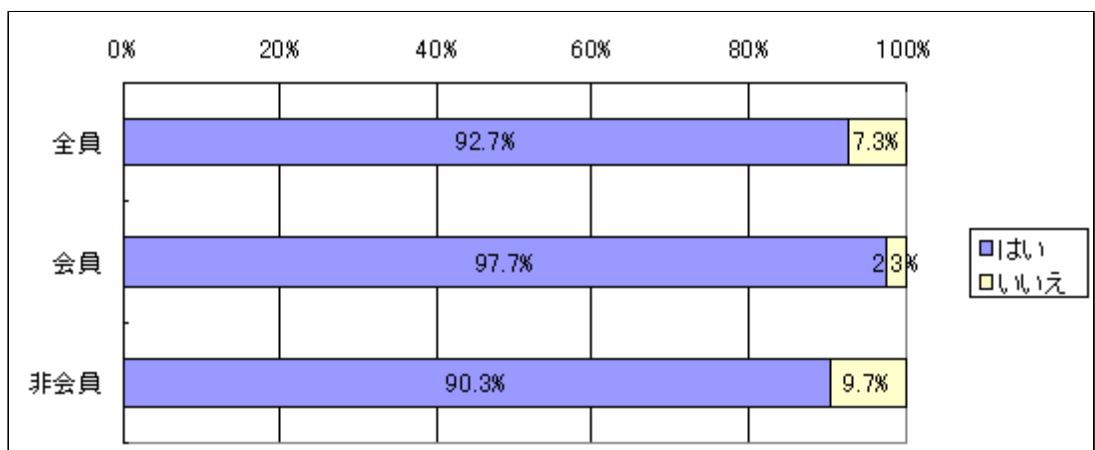


(4) 地上アナログ放送が終了する時期を、以下からお選びください。

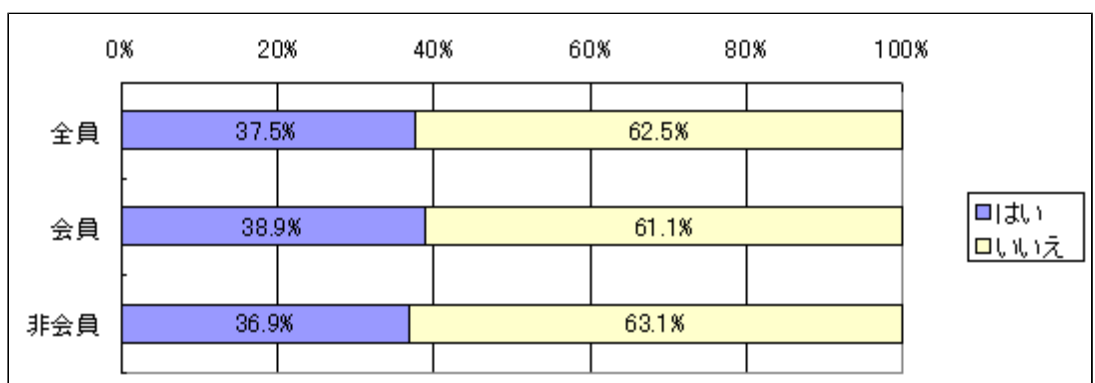
前記(3)の質問で『はい』と答えた方に質問



(5) 地上デジタルテレビ放送をお楽しみ頂くためには、地上デジタルテレビ放送に対応したテレビやチューナー・コンバータが新たに必要になることをご存知ですか？



(6) ご家庭で地上デジタルテレビ放送対応テレビをお持ちですか？



地上デジタル放送用の周波数を確保するためのアナログ周波数変更対策（受信対策）は、平成15年2月から対策を開始していますが、本年10月までの間に630地域の対策に着手し、約458万世帯（全体の98.7%）の対策を終了するなど、計画に沿って順調に進捗しているところです。

1 平成18年11月中に受信対策を開始する地域（15地域、対策見込み数：約1万4千世帯）

- 北海道：1道1地域（北海道）函館市の一部
- 中国：1県2地域（山口県）下関市、長門市の各一部
- 四国：1県5地域（愛媛県）八幡浜市、西予市の各一部
- 九州：3県7地域（佐賀県）伊万里市、唐津市の各一部  
（長崎県）西海市、平戸市、佐世保市、長崎市、新上五島町、鹿町町、江迎町の各一部  
（大分県）国東市の一部

2 これまでの受信対策の進捗状況

	対策着手	対策終了		対策着手	対策終了
北海道	19地域	約5万2千世帯	東海	26地域	約12万9千世帯
東北	19地域	約1万9千世帯	近畿	54地域	約56万2千世帯
関東	76地域	約158万2千世帯	中国	111地域	約71万4千世帯
信越	16地域	約1万3千世帯	四国	63地域	約37万3千世帯
北陸	12地域	約3万4千世帯	九州	234地域	約110万2千世帯

詳細は<[http://www.soumu.go.jp/s-news/2006/pdf/061031\\_4.pdf](http://www.soumu.go.jp/s-news/2006/pdf/061031_4.pdf)>を参照願います。

編集後記



職場の仲間と1泊の信州ツーリングに行きました。集団としては遅刻、マシントラブル、雨中のカッパ着用、霧、迷子などさまざまなアクシデントを乗り越えて、宿「木の実」のある松本市奈川に、下仁田→佐久→茅野→高遠→伊那→木祖→開田村→野麦峠と大きく迂回する名コースでした。唯一のETCモニター搭載車である私のバイク

は高速のICを出るときに無線走行の便利さを発揮しました。

11月からは全国的高速道路で二輪車のETCの利用が可能になりました。無線の恩恵がまた一つ増えました。

（澤井 利和）